

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和5年度			
事業番号	2	事業名	公共交通ネットワーク構築事業 (大事業名) 公共交通事業		担当課		企画政策課			
					予算区分（款-項-目-中事業）		2-1-5-2 公共交通ネットワーク構築事業			
					決算書ページ		56 ~ 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち		事業開始の背景	平成17年3月にリニモが開業し、東西の公共交通の基盤軸が形成された。リニモ、名鉄バス及びN-バスが一体となった利便性の高い公共交通サービスの提供が求められている。			
		政策	1	外出しやすい環境の整備						
		施策	(1)	公共交通の利便性の向上					市民・民間事業者との連携協働の可能性	
	その他	開始年度		平成19（2007）年度						
		終了予定年度		☐ 年度 ☒ 未定						
		根拠法令等		道路運送法、公共交通の活性化及び再生に関する法律						
	関連計画		長久手市地域公共交通計画							
	アウトプット（詳細はⅡへ）					アウトカム（詳細はⅢへ）				
	①事業概要 (どんな取組を行うのか)			②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)		
	【対象】 ☒ 市民 ☒ 事業者 ☐ 職員 ☒ その他 対象の数： 60,000人 【事業内容】 長久手市地域公共交通会議を開催し、交通事業者、行政、市民が連携しながら、地域公共交通の確保・維持及び活性化を図り、地域にふさわしい公共交通を構築します。			【アクションプラン指標】 市内各公共交通の利用者数【単年】 【その他の指標】 運営に携わる市民の人数		外出時に公共交通の利用を検討する市民が増加する (成果指標名) 徒歩や自転車で行けない離れた所に外出する際に「公共交通で行けるかどうかを考えない」人の割合の減少		大 事 業 共 通 過度に自動車に頼る状態から、多様な交通手段を利用する暮らしへの転換を促すため、公共交通に利用を促進し、また、持続可能な交通体系を構築する。		

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	
		1	【アクションプラン事業】 市内各公共交通の利用者数【単年】	人	基準値	5,140,000	見込	4,875,000	5,021,000	5,105,000	5,187,000	5,239,000	
					目標値	4,364,000	実績	5,196,000					
		2	【その他指標】 運営に携わる市民の人数	人	基準値		見込	10	10	10	10	10	
					目標値		実績	8					
		3			基準値		見込						
					目標値		実績						
		4			基準値		見込						
					目標値		実績						
	エピソード	事業開始からの経緯											
		現計画となる「長久手市地域公共交通計画（令和6年度から令和10年度まで）」の推進のため、地域公共交通会議や公共交通ネットワーク調査研究会の開催、公共交通応援隊による活動などを実施している。											
		R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
長久手市地域公共交通計画を令和6年3月に策定した。計画策定にあたり、市民の声を聞くため、市民ワークショップを各中学校区で1回ずつ開催し、56名の参加があった。													

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		徒歩や自転車で行けない離れた所に外出する際に「公共交通で行けるかどうかを考えない」人の割合の減少	%	H25 年度		H29 年度		【現状】 R4 年度		R9 年度		R14 年度	
				19.9		26.1		27.8		22		15	
		成果達成状況					指標目標値の根拠						
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					公共交通利用に対する市民意識の高まりを確認するため。 5年に1度実施している、公共交通に関する市民アンケートにて指標について調査する。					
	評価の理由、分析												
	・年々増加傾向で推移しているため												
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由									
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		今後も市内公共交通を維持する必要があるため。								
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)											
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容						見直し可能年度				
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止										
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											

IV 費用	令和7年度予算の方向性（PLAN）	R7年度の費用（R6年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)		R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度		
		C	A. 現状維持		B. 拡充	事業費	予算	予算	決算	予算	決算	
			C. 縮小		D. 廃止		3,192	7,736	7,501	4,904	4,404	
		理由			特定財源	合計額	0	2,800	0	1,144	130	
		地域公共交通会議負担金（内容は会議運営や資料作成にかかる委託費）の項目を見直し、縮減していくため。				(内 国費)						
						(内 県費)						
						(内 諸収入)		2,800		1,144	130	
							(内 その他)					
		積算額			一般財源		3,192	4,936	7,501	3,760	4,274	
		委託費のうち約60万円を縮減			R6年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R5年度予算額）＞							
			地域公共交通会議委員報償金 198千円（292千円）									
			普通旅費 11千円（9千円）									
			消耗品費 111千円（45千円）									
			食糧費 8千円（12千円）									
			道路通行料 4千円（12千円）									
			地域公共交通会議負担金 2,860千円（7,366千円）									